

# AT-GVM710R

リヤモニター出力専用インターフェイス

SET UP MANUAL

Expand



株式会社エイタック 〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田5581 Phone.045-595-1730 Facsimile.045-595-1733

第7世代iDrive用の純正映像出力専用のインターフェイスです。  
ヘッドユニットが1DINタイプのMGUユニット専用モデルです。

純正地デジチューナーやUSBビデオソースの映像を後付けリヤモニターでも共用する場合に使用します。

※純正のAV映像機器は走行中の視聴は出来なくなっています。

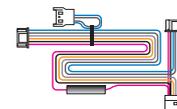
当製品は走行中でも視聴可能にする機能を搭載していますが、恒久的に解除を保証するものではありません。

車輛のUPDATEなどで塞がれる可能性も有ります。この場合は当製品から再解除出来なくなりますので、停車中のみ視聴可能な製品となります。走行中の視聴にはコーディングが必要となると思われます。

## 商品構成



● AT-GVM710R本体



● 16Pコネクタ付き電源/CANハーネス



● 10P映像出力ハーネス (IG電源出力付き)



● 取扱説明書(本紙)



● 保証書



● コーシヨンステッカー



● HSDモニターケーブル

## 使用方法

当製品は車輛の起動に連動して動作致します。

特に何も気にせずに使用出来ます。

リヤモニター出力方法にはFULL出力とCENTER出力があります。純正のAV映像は基本的にiDriveモニターの中央に表示され左右が黒帯で表示されます。

この左右の黒帯をカットして中央の映像のみの部分を出力するのがCENTER出力です。16:9のリヤモニターへ良い比率で出力します。

FULL出力はiDriveモニターの全ての範囲を出力します。(左右などは少しオーバースキャンでカットしています。)

このモードは純正AVソースをワイド表示などで視聴している際に全てを出力致します。

ワイド表示とはiDriveモニター上で上下の映像をカットして左右を広げた状態での表示方法なので、リヤモニターでは上下が切れて左右が詰まった映像になります。

## 出力変更方法

iDriveコントローラーの「MEDIAボタン」を長押しします。

長押しする度にCENTER/FULLが切り換わります。

## 走行中制限解除方法

iDriveコントローラーの「OPTIONボタン」を長押しします。iDriveモニターが一旦消灯して約5秒後に再表示されます。

一旦この操作をすれば以降は解除状態が維持されます。

ディーラーなどで点検後に走行中視聴が出来なくなった場合などは再度この操作を行って下さい。

※この操作を行っても解除出来ない場合は、この機能が利用出来ないように対策が入った可能性があります。コーディングが必要と思われる。

※この走行中制限可能機能はサービス機能です。使用出来なくなっても保証対象外です。

## 走行中制限解除を戻す方法(標準状態)

ステアリングの「ボリュームダウンボタン」を10秒間長押しします。

iDriveモニターが一旦消灯して約5秒後に再表示されます。

## 当製品の再起動方法

何らかの理由で当製品が正常動作出来ない場合を想定して当製品の再起動動作を搭載しています。

iDriveコントローラーの「BACKボタン」を5秒間長押しします。当製品が再起動致します。

※再起動時に当製品の回路が一旦OFFになり再起動しますので、iDriveモニター上の映像が一瞬チラつきます。

## メンテナンスモード操作方法

この操作はユーザー様が行うものではありません。ディーラーなどで車輛プログラミングなどの際に当製品が起動しているとエラーを起こす可能性が有る為、メカニックの方が動作停止をさせるモードです。

iDriveコントローラーの「HOMEボタン」を10秒間長押しします。当製品がバイパス状態となる為、一瞬iDriveモニターがチラつきます。

合わせてリヤモニターが消灯するので確認出来ます。

メンテナンスモードは一度突入すると、車輛のスリープ後の再起動+運転席ドアの開閉信号の入力まで継続し、その後通常起動に復帰します。

※リヤモニターへの出力する映像はiDriveモニターに表示されている映像のミラーリングとなります。

その為リヤモニターで観たい映像はiDriveモニター上にも表示させておく必要があります。

リヤ独立でのシステム希望の場合はAT-DEM71OPUなどAVインターフェイス経由で社外AV機器を取り付ける必要があります。

## 取り付け方法

車輛のモニター信号はAPIX2通信という高度な通信で制御されています。高周波デジタル信号は物凄くデリケートで些細なノイズなどの影響も受け易い特性があります。

第7世代iDriveシステムではモニター解像度が更に上がり、以前のiDriveシステム以上にデリケートですので確実な作業をお願いします。バッテリーを外すか車輛をスリープに入れてから作業します。

車輛は各スイッチ部にタッチセンサーが多用され、簡単にスリープから起き上がってしまいます。不要なエラーを出さないように注意しながら分解作業を進めて下さい。

センターコンソール付近をサービスマニュアルなどを参照して分解し、純正オーディオユニット(MGU)を取り外します。

純正16Pコネクタ部に製品同梱の電源/CANハーネスを割り込ませます。6P側を当製品に接続します。

MGUからモニターケーブル(紫)を抜き、当製品へ接続します。

製品同梱のHSDモニターケーブルを当製品の(桃)~MGUユニット(紫)間で接続します。

1OPビデオ&電源出力ハーネスにリヤモニターを接続します。

電源出力は(赤)IG運動、(黄)車輛起動連動、(黒)GNDです。リヤモニターの電源などにご使用下さい。

※(黄)は常時電源では有りません。車輛スリープ時には切れる電源です。

各配線の接続が完了したら取り外している部品を組み立て動作確認を行います。

コーションステッカーをOBDII端子付近に貼り付けてください。

